シニア世代に向けた魅力的なまちづくり そして人車鉄道の復活で、栃木県の魅力をPR

株式会社 ポラリス

栃木県さくら市桜ヶ丘１丁目２番１号

代表取締役 **浅香 充宏**

栃木県さくら市に開発された住宅分譲地「びゅうフォレスト喜連川」。緑豊かな自然、冬でも雪が積もらない暮らしやすい環境で、主にシニア世代に人気の地域だ。２０２０年10月から『ポラリス』が販売を請け負い、次々と区画の売却が成約している。そんな同社の浅香社長は、〝人車鉄道〟の復活にも熱意を傾ける人物だった。

――こちらは随分と素敵な住宅街ですね。

もともと、約30年前に『ＪＲ』が開発して販売していた住宅分譲地なんですよ。この自然の中にあって都市機能完備。「宇都宮駅」から5つ目の「片岡駅」が最寄り駅です。新幹線を使えば東京も通勤圏内で、実際、私もここから東京まで通っておりました。この周辺にはゴルフ場もたくさんありますし、ゴルフが趣味の方には絶好の土地でしょう。冬場も雪が積もらないので、知る人ぞ知る好立地なのです。「週末だけ郊外で暮らしたい」という方にも適しています。昨年１５２区画を引き受けてから、この半年間で約50区画が販売され次々と建築が進められています。

――早くもそんなに！　どのようにＰＲされたのですか。

まず、この地の魅力をより具体的にアピールし、価格帯も明記しました。ターゲットも子育てが終わった50代半ば以降の世代に絞り、最寄駅の前には当社の車と駐車場も備え、タクシーを使わずに移動できる環境を整備。いつでも現地に見学に来ていただける体制を整えたんです。ちなみに、営業車は全てベンツです。お客様は、県内南部や首都圏の方々が多いですね。私は自治会の役員なども務めていて、まちづくりに関わることが好きですから、現在の仕事はとても楽しめていますよ。

――手腕を感じます。天職なのでしょうね。

ありがたいことに、お客様がお知り合いの方にもここを勧めて下さるんですよ。お客様に喜んでいただくことが私は何より嬉しいですし、栃木県の魅力を伝えられることにもやり甲斐を感じます。栃木県にお住いの方にもあまり知られていないのですが、昔、県内に6本もの人車鉄道が走っていたのですが、ご存じないですよね。

――人車鉄道、ですか。

人力で押して動かす鉄道のことです。今、クラウドファンディングを利用して復活させようと、活動しているんです。これが実現すれば、栃木県はもっと魅力的になりますよ。もともと、ある大学生が80年前のドイツの戦車の複製を作り、それを当社が買い取ったんですね。するとその人が人車鉄道を知っていて盛り上がり、「一緒に復元しよう！」と、プロジェクトが始まりました。そこからさらに広がりを見せ、地元の酒造メーカーとコラボレーションして人車鉄道オリジナルのお酒も作ろう、というところまで話が発展しています。地元テレビ局も関心を寄せてニュース番組と情報番組で取り上げて放映して下さり、各方面から注目を集めているところです。この活動からどんどん地域が盛り上がっていくかと思うと、今からワクワクします。

――浅香社長の活動は、地域貢献にも広がっているんですね。

本業の集大成として今、高齢者向けの街区を計画中です。既にその街区にはクリニックの開院が決まっており、多目的ホールを作って、演劇、ダンスなど、趣味を充実させられる空間も作る予定です。そして、最終的には私が手掛けた街区とこの地域を連携させ、広域連合のようにしたいと考えています。様々な目標に向かって、まだまだ頑張っていきたいですね。

after the interview

「理想とする街を構想して、それを実際につくる――誰にでもできる仕事ではありませんよね。人車鉄道のお話もとても興味深かったですし、浅香社長のバイタリティには驚かされました」

大沢 樹生
（俳優）

© 2021 USP-Management Co., Ltd.